☆令和８年度〈見附市立小・中・特別支援学校〉各校のアカウンタビリティ 概要紹介☆

学　校　名	学校紹介・動画内容
見附小学校	見附小学校は、「かかわりあいのある学びを広げる」を柱に、こどもたちの自信を育む教育活動に力を入れて取り組んでいます。「みつけJobチャレ教育」においても、様々な人とかかわる中で、結果よりもその過程を重視し、こどもたちが安心しながら主体的に学ぶ姿を大切にして活動してきました。日常活動の取組や、「みつけJobチャレ教育」の事例を交えながら見附小学校の取組を紹介します。
見附第二小学校	見附第二小学校は今年独立75周年を迎えました。今年度は「子ども・保護者・地域・職員の笑顔が輝く学校」を合言葉に、地域とのつながりを大切にし、地域の教育資源と小規模校のよさ・強みを活かした教育活動を進めています。「見附第二小学校でしか経験できない活動」「見附第二小学校だから経験できる活動」を中心にご紹介します。
名木野小学校	名木野小学校の重点目標は、「自己尊敬」です。仲間とかかわりながら自分のよさに気付き、仲間のよさを大切にできるこどもを目指しています。刈谷田川に隣接した土地に校舎があり、水害を経験した過去からも、防災教育に力を入れています。川に学び、歴史を学び、未来につながる学びを進めます。また、伝統的な「草薙龍の劇」「鼓笛隊」などの活動、「みつけJobチャレ教育」を柱とした様々な体験活動を紹介します。
田井小学校	田井小学校は、「進んで学ぶ」、「共に高め合う」、「元気に生活する」を柱に教育活動に取り組んでいます。その中から「特色ある活動」や「地域の方からの協力を得て展開している教育活動」、「みつけJobチャレ教育にかかわる総合や生活科の取組」について、小規模校ならではの、温かみのある教育活動について紹介します。
葛巻小学校	葛巻小学校は、『自分の考えを伝え、仲間と共にチャレンジする子ども』を重点目標に掲げ、「徳・知・体」の3つの柱のもとで豊かな学びを進めています。「みつけJobチャレ教育」においても、こどもを中心に据え、「くずまきの森」「アルパカ飼育」「刈谷田川調査」など、地域素材や身近な自然環境を生かした特色ある生活科や総合的な学習を展開しています。それらの取組について紹介いたします。
新潟小学校	全校児童96名の「オンリーワン(個性や良さ)」を大切にし、「自分大好き」「学校大好き」「地域大好き」の気持ちを育む教育活動を進めています。新潟小学校の自慢の一つである「獅子舞」活動は30年目を迎えました。代々受け継がれてきた伝統芸能のさらなる継承と、地域の中に身を置き、課題に気づき解決したりチャレンジしたりする「みつけJobチャレ教育」の取組(総合的な学習の時間等)を紹介します。
上北谷小学校	「笑顔いっぱい　楽しさいっぱい　みんな大好き　上北谷笑楽好！」を目指し、保護者・地域の皆様の全力応援のもと、全校児童15人と教職員が力を合わせて教育活動に取り組んでいます。小規模校の利点を生かし、様々な人・もの・こととの出会いや関わりから学び、成長しているこどもたち。今回は「上北谷地区探検」や「郷土の詩人・矢沢　宰」などを中心に「みつけJobチャレ教育」に関わる取組を紹介します。
今町小学校	今町小学校は、教育目標「つよく　さとく　やさしい子」の育成に向けて教育活動を行っています。特に、アントレプレナーシップの観点からこどもたちが新たな事にチャレンジしたり、自ら見つけた課題を解決したりしていく活動に重点を置いて取り組んでいます。その中から、「地域と共に歩む学校」「みつけJobチャレ教育」「子ども同士が認め合える学校」の視点から行っている活動を紹介します。
見附中学校	伝統と地域の温かな支えに育まれ、見附中学校は今年、創立80周年という大きな節目を迎えました。これまでの80年を大切に受け継ぎながら、次の時代へ―。今、見附中の生徒たちは、自分たちの手で新たな歴史を創ろうとしています。 今年度、大切にしているのが、「クラス会議で生徒主役に！」という取組です。自分たちの学校を、自分たちの手で創っていく。そんな生徒の姿を目指しています。今年の見附中は、「参加する学校」から「みんなで創る学校」へ。生徒一人一人が主役となり、仲間と、保護者と、地域とつながりながら、80周年のその先へと歩みを着実に進めています。
南中学校	南中学校は、「自主、協和、錬磨」を教育目標に掲げ、ふるさとを愛し、見附の人、自然、ものとかかわり、自分を高める生徒を育てようと、日々の教育活動を推進します。今年度から、「学力」「人間性」「マネジメント能力」「地域活動」の４つに重点を置き、活動の目的や目標を全員が共有し、実現のための手立てを一緒に考え、試行錯誤を繰り返しながら、よりよいものを創り上げるよう協働します。先輩や地域が大切にしてきた南中の伝統を受け継ぎながら、活動を行う生徒の様子を紹介します。
今町中学校	「自他を尊重し、自分の目標に向かって努力する生徒」、「ALL STARS ～誰一人取り残されない　一人一人が輝く学校～」。今町中学校が目指す生徒像であり、生徒が教育活動の全面で活躍できる、よりよい今町中学校を創っていこうという意味が込められた学校像です。「ALL STARS」の言葉とともに生徒・教職員・保護者・地域が一丸となって、「地域と共に歩む学校」として歴史と伝統を大事にしながら新たな取組も進めています。その活動の様子を生徒の姿をとおして紹介します。
西中学校	全校生徒314名の西中学校は、教育目標「心豊かで力強い中学生」とならび、目指すべき生徒像「西中道」を掲げています。その指標「自立・共生・貢献」を様々な教育活動において意識しながら、生徒が主役の学校づくりに取り組んでいます。本校の「みつけJobチャレ教育」と生き生きと活動する生徒の様子を紹介します。
見附特別支援学校	見附特別支援学校には小学部・中学部・高等部があり、各学部では、こどもたちの様子や発達段階等に応じた特色ある教育活動を展開しています。日々の学習や様々な体験を通して、人と関わる力や自分の役割を果たす力など、「地域で豊かに自分らしく生きる」ための力を育んでいます。地域での学びや地域との関わりを大切にし、学校教育活動全体を通したキャリア教育を進めています。こどもたちが生き生きと学び、きらっと輝く姿を各学部の活動を通して紹介します。

- 市教育委員会　学校再編　ライフデザインセミナー　プレイラボみつけ　みつけJobチャレ教育
- 公立保育園　幼保小架け橋カリキュラム

スクールアカウンタビリティ動画はこちらから視聴できます

共創郷育

11月第３日曜日は「見附市子育て教育の日」
今年は11月15日になります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

見附市 子育て 教育の日

地域とともに こどもを育む、見附ならではの教育活動を 一挙公開します！

授業公開　オープンスクール

市内の各小学校・中学校・特別支援学校

期日　11/19（木）

市内参観自由（最大2校まで）

※申込は下記参照

スクールアカウンタビリティ 動画配信



見附市立学校、公立保育園、見附市教育委員会の取組を動画配信します。

配信期間　11/1（日）～11/30（月）

見附市 子育て 教育週間

～こどもと過ごそう 家族で語ろう～

家庭や地域において、
四つ葉運動
（あいさつ、読書、花と緑、お手伝い）を推進し、
家族で過ごす時間を増やしたり、
こどもとのかかわりを深めたりします。

期間　11/8（日）～11/21（土）

みつけこどもビジネスアイディアコンテスト2026　表彰式

今年は「○○さんの願い・あったらいいなを叶える給食メニューを考えよう」をテーマにこどもたちにビジネスアイディアを募集しました。
どんな作品が選ばれるかお楽しみに。

期日　11/15（日）
時間／10：00～
会場／見附市役所

「四つ葉運動」を通して、こどもとのかかわりを深めましょう！



今年の 見附市 子育て 教育の日 11月15日（日）のおすすめの過ごし方



スクールアカウンタビリティの動画を家族で視聴しましょう！

より詳しい内容は、見附市教育委員会のホームページをご覧ください

「告知動画」配信もこちらから→
配信期間／10月16日（金）～11月30日（月）

見附市教育委員会

https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/kyikuiinnkai/17374.html

学校の雰囲気を体感できる オープンスクールへ参加しよう！

◀ご希望の方はホームページからお申し込みください。

一般参加の方
見附市教育委員会のホームページから申込みをしてください。
（左の二次元コードからアクセスできます）

■参加申込〆切：11/16（月）

在校生の保護者の方＞　申込不要

※お子さんの在籍校以外を参観される場合は、左の二次元コードよりお申込みください。
※【ご注意】申込みのない方は、各小・中・特別支援学校でのオープンスクールの参加はできません。

主催／「見附市 子育て 教育の日」実行委員会・見附市教育委員会・見附市校長会

お問合せ　見附市教育委員会　TEL.0258-62-1700

共創郷育
見附市 子育て 教育の日

ご挨拶

日頃から、見附市の教育にご協力・ご支援いただき感謝申し上げます。

「見附市　子育て　教育の日」は、見附の明日を担う子どもたちを健やかに育むため、家庭、地域、学校、教育行政がそれぞれの立場から考え、互いに連携・協力した取組を一層進めるきっかけとなるよう、制定したものです。今年度より、オープンスクール授業参観を平日開催としました。「見附市　子育て　教育の日」である11月15日（日）に四つ葉運動やスクールアカウンタビリティの動画視聴などを通してこどもと保護者の関わりを深めていただきたいこと、動画視聴後、オープンスクール授業参観をしていただくことで、こどもの学校での様子や学校の取組をより深く理解していただきたいこと等が変更の主な理由です。

こども計画

さて、見附市では「見附市こども・子育てどまんなか条例（下の二次元コードよりご覧ください）」を令和６年４月１日より施行しました。また、令和７年３月に「見附市こども計画（右の二次元コードよりご覧ください）」を策定し、これまで見附市の教育で大事にしている、０歳から18歳までの一貫した切れ目のない支援と「共創郷育」の理念の下「地域とともにある学校づくり」の取組のさらなる充実につなげています。

当市で特に力を入れている取組が、地元での起業・創業をはじめ、チャレンジを身近に感じて積極的に行動できる起業家精神と起業家的資質・能力を有する人材をこどもの頃から育成することを目指したアントレプレナーシップ教育の視点を位置付けた教育活動である「みつけJobチャレ教育」です。市内の企業や事業所、商店等を含む組織や各種団体等、そして市役所各課が一体となったオール見附の体制で「みつけJobチャレ教育」を推進しております。

大勢の市民の皆様が総がかりでこどもたちの成長を支援していただきました。このことに感謝申し上げますとともに、本年度の「見附市　子育て　教育の日」に関する取組である「オープンスクール」や「スクールアカウンタビリティ in みつけ2026」等を、これからの「地域と共にある学校づくり・園づくり」について共に考える契機にしていただければ幸いです。

見附市教育委員会　　見附市校長会

見附市こども・子育てどまんなか条例 前文

全てのこどもは、見附市の明日への活力と喜びにつながる地域の宝であり、一人ひとりが様々な個性や能力、大いなる可能性を持ったかけがえのない存在です。

こどもは、おとなと同様に権利の主体として尊重され、基本的人権や児童の権利に関する条約の４つの原則「差別の禁止」「こどもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「こどもの意見の尊重」等が保障されなければなりません。また、こども自身がその権利について自覚し、自分の存在に自信と誇りを持つことが大切です。そして、自分の権利が守られることで、全ての人の権利が自分と同じように守られることを理解できるようになります。

おとなは、こどもが権利を保障され、社会の一員として自分の意見を自由に表明することができる存在であることを理解し、こどもに伝えていくことが必要です。こどもの権利について、こども自身を含めて、市民全員が共通認識を持つことが大切です。そして、こどもを独立した権利の主体として尊重し、その意見を受けとめ、大切にし、こどもにとって何が最も良いことなのかを考え、自立に向けて成長を支えていくために、こどもに関する取組や施策を強く進めていく必要があります。

見附市ではこれまでも、学校と家庭、地域の連携を強化し、地域の人材と資源を活かして教育の質の向上を図る「共創郷育」の理念のもとで、おとなが総がかりでこどもの育ちを支える取組を推進してきました。

改めて、こどもの権利や子育て支援の基本理念を示すことで、市民全員が子育てへの関心をさらに高め、こども・子育てを社会の「どまんなか」におきながら、保護者、行政はもとより、地域、事業者等社会全体でこどもや子育てを支え、こどもが「見附市に育ってよかった」と誇りを持ち、子育て世代が「見附市に住みたい、住んでよかった」と思えるまちの実現を目指して条例を制定します。

条例

見附市教育委員会の取組

見附市の基本理念

1. ふるさと見附を愛する子どもの育成を目指します。
2. 世に役立つことを喜びとする子どもの育成を目指します。

★子育て環境の充実

妊娠、出産から育児まで切れ目ない支援

妊娠期から育児期までの包括的な支援をワンストップで展開する「ネウボラみつけ」では「産後ケア」、「療育教室」、「産前産後サポート」、「個別相談」等を開催し、育児や就学へのつなぎを支援します。



仕事と子育てが両立できる環境の整備

病後児保育、放課後児童クラブ、ファミリーサポート等、こどものより多様な受け皿を整備し、仕事と子育てが両立できる環境づくりを進めます。

見附市子育て支援サイト スマイルみっけ



見附市こどもの居場所 プレイラボみつけ

主に小学生（特に高学年）が天候にかかわらず放課後や休日に自由に過ごせる、遊びと学びの場を提供することにより、こどもの自発性を育むことを目的として、見附市こどもの居場所（プレイラボみつけ）を設置しています。



★たくましく生きていく「生きる力」の育成

絆の礎「四つ葉運動」の推進

「あいさつ」「読書」「花と緑」「お手伝い」の四つ葉運動を、各園、学校、家庭等、全市で推進しています。



見附の子どもの本100冊運動



乳幼児・小学生・中学生に読んでもらいたい本をそれぞれ100冊（乳幼児は105冊）のリストにし、読書活動を推進しています。

オリジナル副読本「みつけ塾」



こどもたちに「生きる力」として知ってもらいたい先人の知恵を集めた「みつけ塾」を作成し、活用しています。

平成26年度には、これまでの学年別に加え見附のよさを満載した「つなぐ」を増刊し、全4巻となりました。

防災教育の推進



過去の災害の経験や教訓から、災害への備えを学ぶ「防災スクール」を全校で実施。各校の実態に合わせた防災教育を展開しています。（ぼうさいこくたい2026でオンラインブース展示）

「スマートウエルネススクール」の推進



歯科保健や正しい姿勢とウォーキングの実践、住まいと健康に関する学習などを通じ、こどもたちの将来に向けた生活習慣づくりや社会性を育む取組を進めています。

★地域の人材と資源を活用した教育の充実

地域とともにある学校づくり「コミュニティ・スクール」の推進



地域・保護者と学校が一体となって学校運営を推進していく仕組みである「コミュニティ・スクール」を全小・中・特別支援学校で推進しています。

市民・教職員・行政が講座を開設！幅広い感動体験を提供「わくわく体験塾」



学校だけでなく、地域や企業の方にも講座を開設していただき、夏休みを利用して様々な体験活動を提供しています。

起業家精神・起業家的資質・能力を育む みつけJobチャレ教育の推進



「こどもが自ら課題をみつける」「こどもが実社会（地域）とつながる」「こどもが不確実性の高い課題に挑戦し、失敗体験からも学ぶ」「こどもが社会に新たな価値を提供する」を４つの柱として、地域の大人に学んでいます。

★快適な学びの空間、充実した教育環境の整備

☆快適な学びの空間、充実した教育環境の整備

学校再編を進めていくうえでの配慮事項

～こどもたちが安全・安心に学べる教育環境づくりを目指します～

1. 環境変化に対する配慮
   ⇒　心身の負担への十分なケア
2. 交通手段の確保
   ⇒　公共交通やスクールバスなどの活用
3. 時代に即した学習環境の構築
   ⇒　体育館、教室の空調整備を進めます





市では、配慮事項を踏まえて、早い段階から取組を進めています

学校施設の長寿命化等の改良工事

長寿命化計画等に基づき改良工事、営繕工事を適切に行い、快適な学びの空間、教育環境の整備に努めます



通学路の安全対策の推進

毎年点検調査を行い、庁内組織及び通学路安全推進協議会での検討を行い、優先度の高い路線から安全対策を行っています。



安全安心な学校給食事業

見附産米を使用するほか、地元産野菜も積極的に使用して安全安心な給食を提供します。給食費の小学生の無償化、中学生の２か月分の無償化、多子世帯への補助も拡大し、保護者の負担軽減にも努めています。

